# 間欠的な赤色尿と息切れ　 50歳男性　書籍909頁参照

|  |
| --- |
| 現病歴：数か月前から起床時の尿が赤いことが時々あった．特に風邪をひいているときに赤い色の尿が出ることが多かった．発熱や痛みはなく，残尿感や頻尿もない．最近になり，階段を昇ると息切れがするようになったため受診した．  既往歴：特記すべきことなし．薬物の内服なし．  身体所見：身長170 cm，体重65 kg，体温36.2℃，脈拍70回/分（整），血圧120/74 mmHg，呼吸数16回/分．眼瞼結膜に貧血を認め，眼球結膜に黄染はない．心音・呼吸音に異常なく，肝・脾・腎は触知しない．浮腫はない．皮膚や粘膜に出血斑はない． |

## ■診断の進め方

### 特に見逃してはいけない疾患（考えられる疾患をできるだけ挙げる）

ここに記入

### 頻度の高い疾患（考えられる疾患をできるだけ挙げる）

ここに記入

## ■この時点で何を考えるか？医療面接と身体診察を総合して考える点 （可能性の高い疾患とその理由、除外診断とその理由などを挙げる）

ここに記入

### 診断仮説（仮の診断）（可能性が高いと考えられる疾患を挙げる）

ここに記入

## ■必要なスクリーニング検査（診断を絞り込むために必要な検査を挙げる）

ここに記入

## ■検査結果

|  |
| --- |
| 尿試験紙法：潜血（3＋），糖（−），蛋白（＋），ビリルビン（−），ウロビリノゲン（＋）．  尿沈渣：赤血球1～4/HPF，白血球1未満/HPF，円柱なし．  血球・血液生化学所見：WBC 3,400/μL（Band 3，Seg 52，Eos 2，Bas 1，Lym 37，Mon 5），RBC 265万/μL，Hb 8.6 g/dL，Ht 27.3%，網赤血球3.0%，Plt 9.9万/μL，TP 6.9 g/dL，Alb 3.9 g/dL，UN 13.0 mg/dL，Cr 1.0 mg/dL，LD 1,035 U/L，AST 50 U/L，ALT 36 U/L，総ビリルビン1.6 mg/dL，直接ビリルビン0.4 mg/dL，CK 85 U/L，CRP 0.18 mg/dL． |

### 診断仮説（仮の診断）（可能性が高いと考えられる疾患を挙げる）

ここに記入

## ■診断確定のために（必要な追加検査などを挙げる）

ここに記入

### 診断（診断結果を記入）

ここに記入

## ■治療の基本方針（診断を受けて必要な治療を挙げる）

ここに記入